

SLの聖地 『大井川鐵道』 SL乗車

南アルプスあぶとライン トロッコ列車乗車のたび



大井川鐵道は通年で SL（蒸気機関車）や EL（電気機関車）など多くの観光列車を多くの本数運転している鉄道会社です。乗車する SL かわね路 15 号は C10 形 8 号機です。昭和 36 年に合図若松区で廃車を迎えるも昭和 62 年に宮古市で“SL リアス線”として復活。平成 9 年より大井川鐵道に入線して営業開始しました。蒸気機関車の汽笛を聞きながら、大井川沿いののどかな風景を時速 30 キロとゆっくり走るレトロな観光列車の醍醐味を味わってください。

観光列車（SL・EL かわね路号）運転区間

● …停車駅

○ …千頭方面のみ停車

○ …新金谷方面のみ停車



※家山⇄千頭は、2022年9月の台風15号による被害のため普通列車を含む全列車は運休となっております。



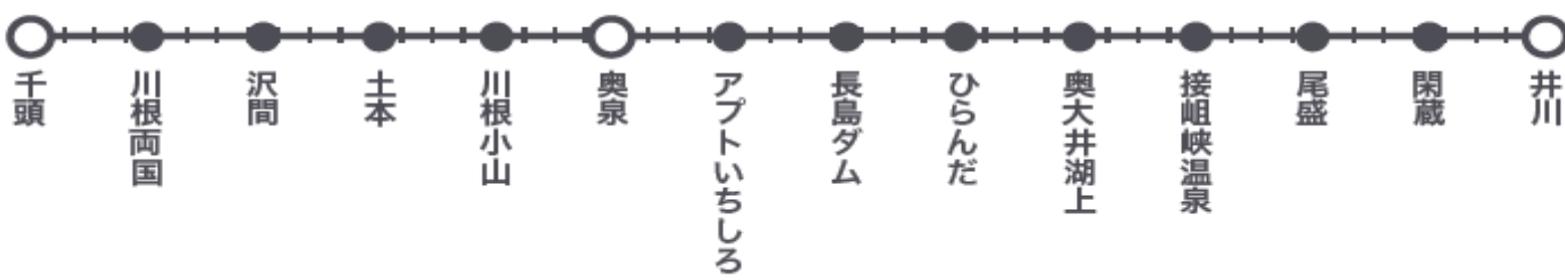
運転席です



石炭で走ります



運行区間



日本で唯一のアプト式鉄道

2本のレールの真ん中に歯車レール（ラックレール）を敷き、それにアプト式電気機関車の床下に設けられた歯車（ラックギア）を噛み合わせ、急勾配の線路を登り降りする鉄道。アプトいちしろ駅から長島ダムの間にある1000分の90という日本一の勾配を運行します。スピードは自転車と同じくらいの15キロでゆっくり走ります。



奥泉～アプトいちしろ間を運行する『南アルプスあぶとライン』



ご参加者に大井川鉄道社作成の沿線ガイドを差し上げます!